

小山中学校区小中一貫校化地域説明会の記録

開催日時

令和7年12月18日（木）午後7時00分開会

開催場所

健康福祉会館 多目的ホール

議事

教育長あいさつ ～小中一貫校化による教育行政の方向性について～ 省略

諸説明

- ①小中一貫教育の制度とその流れについて 省略
- ②小中一貫教育がねらう教育的効果について 省略

質疑応答

○小中一貫教育に向けてどのように進めていくのか。

- ・学校運営協議会で地域の皆様の声を聴きながら、学校からどのように進めていくかを提示する。
- ・学校運営協議会は必要に応じて回数を増やすこともある。
- ・地域の方が声を寄せる方法として、各校の教員に声を掛けていただくことに加えて、アンケートやPTA組織等を活用することが考えられる。

○行政や地域と教育委員会はどのように関わっていくか。

- ・小山町行政の理解と協力を得て、様々な教育政策を組み込んでいく。
- ・たとえば、小山町では各校一人ずつALT(外国語指導助手)が配置されており、全国的に見て珍しい取組である。
- ・また、町は小山高校の魅力化を応援しており、0歳から18歳まで小山町で教育できる体制づくりを考えている。高校があることで町を活性化させたい。
- ・他にも、新産業エリアを活用したキャリア教育等、町の地域的な特性を生かした教育ができるように地域や行政とタイアップしていきたい。

○一貫校化に向けて地域やPTAと連携していく上で、情報伝達の際は設けられるか。

- ・現在は子供が減りPTAの在り方も変わりつつあるので地域とPTAの関係づけは難しい。しかしPTA活動というのは重要であり、今後、PTAと学校運営協議会の連動をどのように図っていくのかは1つの大きな課題として捉えている。
- ・基本的には学校だよりや学校のホームページ等、様々な形で皆さんにご理解いただけるように努めるべきだと考えている。
- ・他に、町の学校全体に関わることは町のホームページや広報おやまなど、様々な媒体を活用して情報提供していきたい。

○乗り入れ授業は実施されるのか。

- ・保持する免許科目と人事異動の関係があるので、その点について工夫をしながら教育委員会としてしっかり検討していきたい。

○保護者として何を準備すればいいか。

- ・特に前もって入学までに準備をすることはないが、ぜひ学校に楽しく通える準備をしてもらいたい。そして、是非学校に力を貸していただけたらありがたい。